

大学教育学会 第36回(2014年)大会  
2014.5.31 名古屋大学



ラウンドテーブル1  
学士課程教育における共通教育の質保証  
— 直接評価と間接評価の開発と統合について —

## 企画趣旨

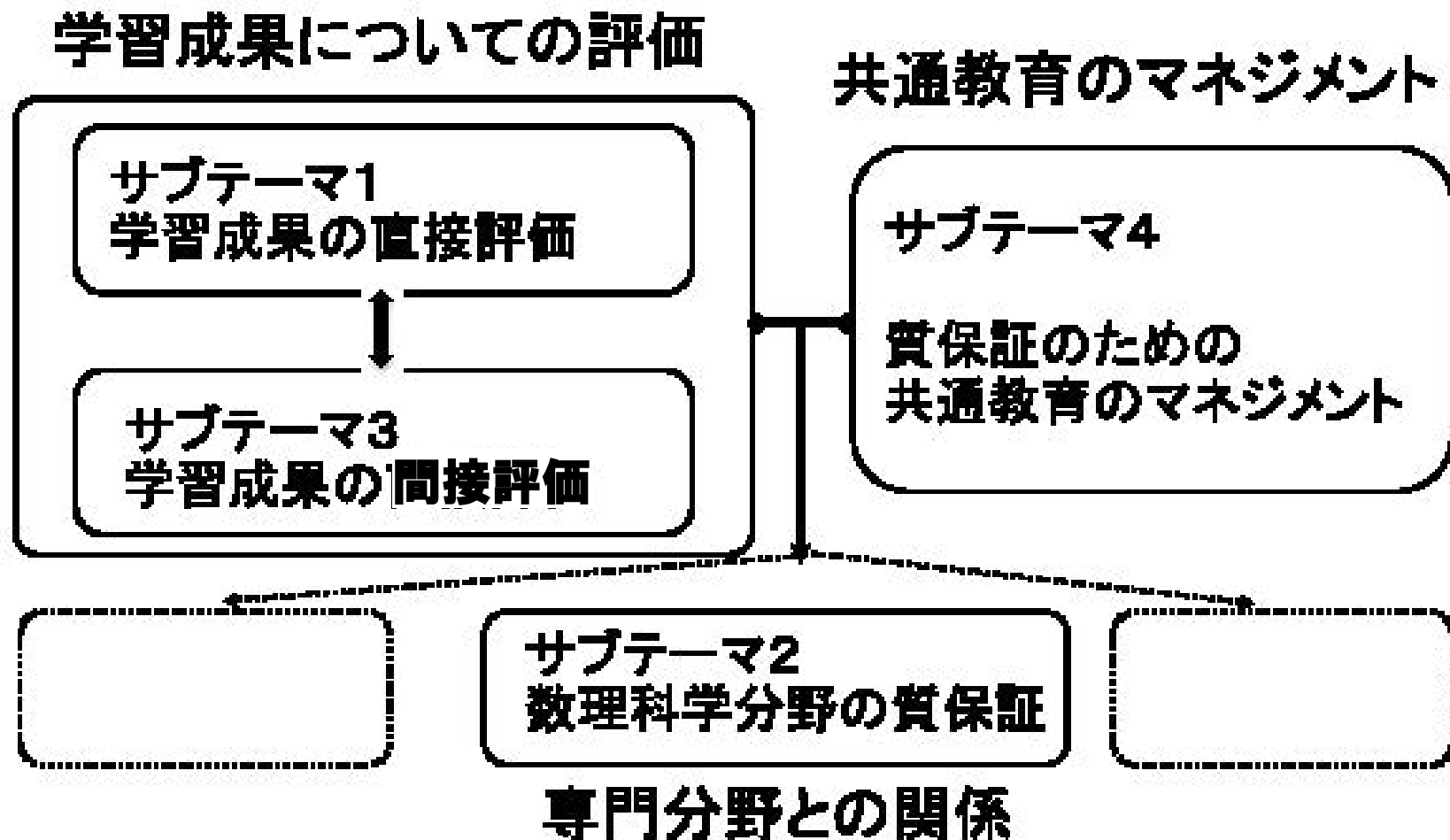
松下 佳代  
京都大学高等教育研究開発推進センター  
matsushita.kayo.7r@kyoto-u.ac.jp

# 本課題研究の概要

---

- 「学士課程教育における共通教育の質保証」
  - 分野別質保証の議論では欠落しがちな、共通教育の質保証を主要な対象とする研究
  - 2013～2015年度
  - 4つのサブテーマ（\*責任者）
    - 1. 共通教育における学習成果の直接評価(\*松下佳代)
    - 2. 数理科学分野における共通教育の質保証(\*高橋哲也)
    - 3. 共通教育における学習成果の間接評価(\*山田礼子)
    - 4. 共通教育における質保証のためのマネジメント(\*鳥居朋子)

# 本課題研究の構成



# 本課題研究の進捗状況

---

- 2013年度
  - 研究開始
  - 課題研究集会・・・各サブテーマの研究目的・計画・進捗状況について報告
- 2014年度
  - 大会RT・・・相補的な関係にあるサブテーマ1と3にしぼって報告
  - 課題研究集会・・・主にサブテーマ2と4について報告

# 本課題研究の組織(サブテーマ1・3)

## ● サブテーマ1

松下 佳代	京都大学高等教育研究開発推進センター	責任者
深堀 聰子	国立教育政策研究所	研究メンバー
森 利枝	大学評価・学位授与機構	研究メンバー
森 朋子	関西大学教育開発支援センター	研究メンバー
杉原 真晃	聖心女子大学文学部教育学科	研究メンバー
小野 和宏	新潟大学歯学部	研究協力者
牧野 由香里	関西大学総合情報学部	研究協力者
亀倉 正彦	名古屋商科大学経営学部	フィールド協力者
林 透	山口大学大学教育機構大学教育センター	フィールド協力者

## ● サブテーマ3

山田 礼子	同志社大学社会学部	責任者
白川 優治	千葉大学普遍教育センター	研究メンバー
森 利枝	大学評価・学位授与機構	研究メンバー
相原 総一郎	愛知教育大学教員養成開発連携センター	研究協力者

# 本RTの問題と目的

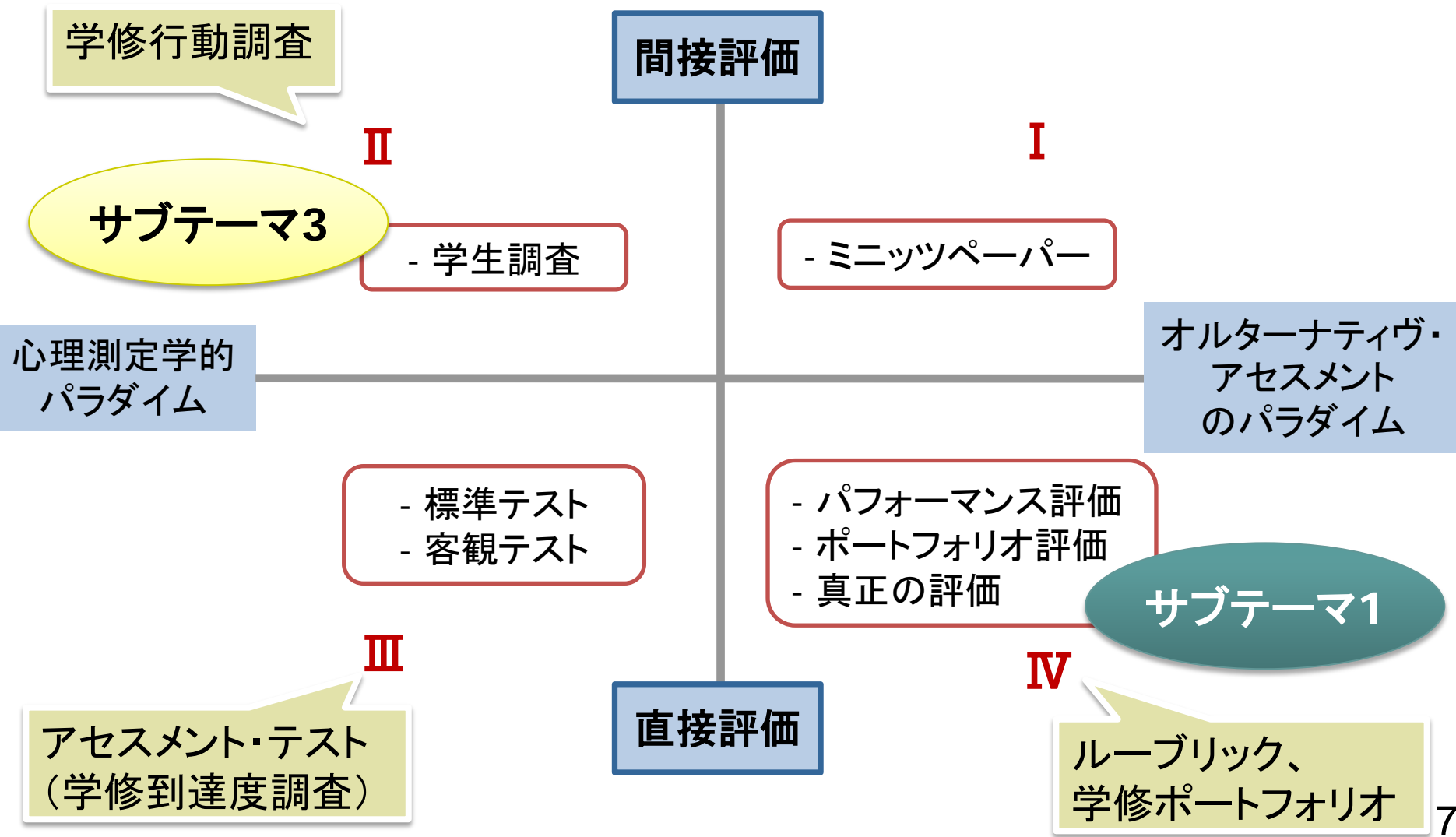
---

## ● 問題

- 学生の学習成果を明らかにするために、直接評価と間接評価についてそれぞれ、どのような方法を開発し、その結果をどう分析・評価するか？
- 直接評価と間接評価の統合は可能か？ 両者はどう関連づけられるのか？
- どのような単位(プログラム／授業科目)で、学習成果を評価するか？

# 学習成果の評価の構図

(松下, 2012)



# 間接評価と直接評価

(Palomba & Banta, 1999)

## ● 間接評価

- 学生の学習行動や学習達成についての自己報告を通じて、  
学習過程や、学習成果を間接的に評価
- 質問紙による「学生調査」など
  - 【例】 NSSE  
JCIRP(日本版大学生研究調査プログラム) (山田, 2012)

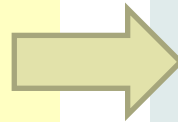
## ● 直接評価

- 学生の知識や技能の表出を通じて、  
学習成果を直接的に評価
- パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価／テスト など
  - 【例】 AAC&U VALUEプロジェクト



# 当初の計画 と 現在の状況

- サブテーマ1
  - 直接評価
- サブテーマ3
  - 間接評価
- サブテーマ1と3の連携
  - 直接評価と間接評価の統合



- サブテーマ1
  - 授業科目レベルでの直接評価＋間接評価
- サブテーマ3
  - プログラムレベルでの間接評価
- サブテーマ1と3の連携
  - ?

# タイムテーブル

---

- 10:00～10:15 本課題研究の概要など（高橋）  
本RTの企画趣旨（松下）
- 10:15～11:15 報告（小野・斎藤、白川、松下）  
\* 各15～25分（簡単な質疑応答を含む）
- 11:15～11:20 休憩
- 11:20～11:50 ディスカッション
- 11:50～12:00 本RTのまとめ（松下）  
本課題研究の今後の予定（高橋）

# 本RTでの報告

---

- サブテーマ1
  - 新潟大学歯学部でのPBLでの直接評価、および間接評価（「授業用学習質問紙（CLQ）」）の開発・実施・分析
- サブテーマ3
  - 間接評価（「大学生学習調査2013年（JSLS2013）」）の内容、および千葉大学での実施結果の分析
- サブテーマ1と3の統合
  - 直接評価と間接評価の相関に関する、米国での研究のレビュー

# 文 献

- 松下佳代 (2012). 「パフォーマンス評価による学習の質の評価—学習評価の構図の分析にもとづいて—」『京都大学高等教育研究』第18号, 75-114.
- 松下佳代 (2014). 「共通教育における学習成果の直接評価—研究目的・研究計画・進捗状況について—」『大学教育学会誌』第36巻第1号.
- Palomba, C., & Banta, T. (1999). *Assessment essentials: Planning, implementing, and improving assessment in higher education*. San Francisco: Jossey Bass.
- 高橋哲也 (2014). 「学士課程教育における共通教育の質保証に向けて」『大学教育学会誌』第36巻第1号.
- 山田礼子 (2012). 『学士課程教育の質保証へむけて—学生調査と初年次教育からみえてきたもの—』東信堂.